

アンテオケ教会の祝福

使徒の働き11:19-30
2016,7,10 HKJCF

概観

序)①ペテロの意識変革②エルサレムの意識変革③アンテオケの意識変革

- | | |
|--------------------|--------|
| 1、迫害と宣教 | v19-21 |
| 2、バルナバの派遣 | v22-24 |
| 3、パウロの参加と援助 祈り) | v25-30 |

I 迫害と宣教

- 1、ステパノ以来の迫害・圧迫・困難
 - 2、アンテオケまで異邦人に宣教せず
 - 3、アンテオケで初めてギリシャ人宣教
⇒聖霊によるポジティブな信仰の連鎖
- ①ステパノ・カイザリヤ・エルサレム
 - ②理解から実践へ、自己の適用と意識変革(信仰の目、神の国の視点)が必要
→自分の事として聖書を読む ヘブル4:2
 - ③主にあれば時が来ると実を結ぶ詩1:3

II バルナバの派遣

- 1、バルナバと呼ばれる信仰者
- ①慰めの子:レビ族 ②ヘレニスト
 - ③寛容・無欲・愛→祭司的牧師 使4:32-7
 - ④立派・聖霊・信仰に満ちた 使9:26-28
- 2、バルナバの奉仕
- ①恵みを見て喜び
 - ②主にとどまるよう、励ました ヨハネ15:5
- 3、バルナバの評価
信徒×牧師=多くの人の救い: + → ×
←アンテオケ教会は信徒によって開拓

III パウロの参加と救援

- 1、元迫害者パウロと成熟した愛
- ①赦す ②与える ③共に成長する
- 2、聖書の教えと訓練
- 3、キリスト者のID ガラテヤ6:14-17
- ①証印②キリストへの献身③小キリスト
- 4、飢饉の預言と実現
- 5、アンテオケ教会の救援活動⇒成熟
- ①チーム牧会 祭司×預言者×リーダー
 - ②福音×宣教×アガペー×聖書×訓練
 - ③母教会への援助と一致:世界宣教へ

結論・適用・祈り

- 1、意識変革(知識→宣教と愛の実践→チーム牧会→聖書・訓練→成長・成熟)
 - 2、どうしたら自己変革できるか?
- 1)神の子のID 2)神の国の視点 3)積極的信仰 4)魂への愛 5)キリスト中心(Xn)
- 「神様、知識から実践へと前進するために、信頼、不安と困難に打ち勝つ勇氣、内住のキリストの確信が必要です あなたが私の不安と困難を祝福に代え、神の国の価値観・積極的信仰で良い実を結ばせてください」
ヨシュア1:5,使18:9-11